



日本を護る会 レポート

令和 2年3月

第 38 号

理事長挨拶：

本年最初のレポートをお届けします。例年新年の行事として行っております初詣は今年は神田明神に行きました。神田明神は正式名称を神田神社と言い、社伝によれば天平2年(730年)大己貴命を祖神として祀られている由緒ある神社であり、当日も大変な賑わいでした。

2月は当初の予定では第85回定例会として「ユダヤ難民救済、キスカ島撤退、北海道防衛に見る樋口季一郎中将の判断」と題する同中将のお孫さんである樋口隆一明治学院大学名誉教授による先人達の素晴らしい業績と共に我々日本人の長所と短所を考察したお話を伺い、また、3月は第86回定例会として「旧敵英海軍士官が賞賛する武士道」として世界の海軍の間で美談として伝えられている我が帝国海軍の素晴らしい業績のお話を恵隆之介氏から伺う事にしておりましたが、新型コロナウイルスの感染防止対策として全国的に集会行事が制約されたために当会の定例会も延期せざるを得ませんでした。これらにつきましては感染状況が収まりました後に行いたいと思っております。その他の企画としましては、尖閣諸島を含む我が国の領海警備に奮闘している海上保安庁の活動及び中東に派遣された我が自衛隊の活動等、それぞれの実態を直接その活動に努力された方達からの生々しいお話を伺う機会も作りたいと考えています。

当会は皆様からの建設的な御意見を伺い、それを反映させて活動を充実発展させて行きたいと考えますので忌憚ない御意見、御希望をお知らせ下さいますようお願い致します。

理事長 大橋 武郎

第34回研修会

令和2年新年の昇殿参拝

令和2年1月12日(日) 11:30～ 於：神田明神

「日本を護る会」令和2年初詣（昇殿参拝）レポート

当会では例年新年初頭に都内の著名な神社に昇殿参拝することを恒例行事としておりますが令和2年は神田神社に参拝いたしました。神田神社は一般に神田明神と呼ばれ親しまれていますがその由緒は古くご創建は天平2年(730年)と言いますから約1300年の歴史を持つ我が国屈指の有名神社です。徳川家康が江戸開府の際江戸城から現在地の神田に移りました。ご祭神は3柱で1. 大己貴命(おこなむちのみこと=だいこく様) 2. 少彦名命(すくなひこのみこと=えびす様)そして3番目がかの平将門命です。江戸総鎮守として長く多くの人の崇敬をうけています。

令和2年1月12日(日) 11時20分、参加者26人は滞りなく(ほぼ?) 御茶ノ水橋駅聖橋口に集合致しました。当日は幸い天気もよく一同はゆっくり聖橋を渡り右手には有名な湯島の聖堂(孔子廟-昌平覺、徳川幕府

の人材養成学校)を見ながら10分位歩いて全員無事に神田神社に到着致しました。



さすが都内随一を誇る有名神社で松の内を過ぎたとはいえ境内は参拝の善男善女で大賑わいでした。当初11時40分に予定していた昇殿参拝は大幅遅延、本殿に入る前は行列を作って待たされることになってしまいました(正直言うと当方も駅前の待ち合わせでかなり遅刻していたのです)。かなりの先行昇殿グループが押せ押せで遅れており本来本殿内で椅子に座って待てるはずが外で行列を作って待つ羽目となってしまいました。



待つ間お賽銭箱に「万札が入ってるね」と皆で感心しています。



本殿内から撮った写真、ご覧の通り参拝者が鈴なりです。



結局数組と一緒に参拝することになりやや不満ではありましたが無事昇殿参拝を終えることができました。前年の芝神宮は単独昇殿でしたがむしろこちらが例外的と考えるべきでしょうか。なお当年の会の祈願は「国運隆盛」と「会運隆昌」でありました。以下は参拝終了後の集合写真です。参拝後参加者にお守りの配布とお神酒を頂くことができたのですが連絡不十分で一部の方が先に退出してしまい(ご免なさい)少し少人数の写真となってしまいました。



一同はその後来るときと同じ道をたどり再度駅前集合、恒例の昼食会に参加致しました。駅前の蕎麦屋さんで楽しく昼食を摂り無事散会、お疲れさまでした、また来年もよろしく。(少し早いか)

神田明神様、江戸っ子は「明神様」と親しみを込めて呼んでいます、伝説話を一つ。

明神様を崇拝する氏子は、成田山新勝寺へは行かないって知っていましたか？

これは、神田明神御三柱であられる将門公討伐隊が成田山新勝寺で、護摩儀式を行った為、今でも将門公を苦しめる、と言い伝わっているからです。また、明神様と同じく、将門公を祭神とされている千代田区九段の築土明神(築土神社)にも、同様の言い伝えが在るそうです。同じく千代田区大手町の超一等地には将門公の首塚が在ったりと、現在の千代田区は将門公とは縁が深い地となっています。

ちなみに真夏の暑い日に首塚へ行くと、とっても涼しいです。「都内の避暑地」と思えるほどです。

今世界は新型コロナウイルス感染拡大で大変な事になっております。神田明神様は、日本の経済活動の中心地、大手町や丸の内などに氏子を持ち、江戸の総鎮守であります。困った時の神頼みで、何とか日本経済はもちろんの事、様々な意味で崩壊しないようにと祈るばかりです。



事務局からのお知らせ



先ずここに示しましたように、「日本を護る会」の新しいロゴが決まりましたのでご報告を致します。シンプルで日本を代表する美しい桜の花となりました。これから、旗、バッジなどの製作の準備にかかるところです。次に、毎回ご報告をさせて頂いております「認定NPO法人」の資格取得に関する現状です。昨年11月に行われた都庁による細部に亘る監査が行われた結果、本年度内(6月まで)に再申請をすることになり、それに伴う事前相談を今月行いました。結果、誠に残念ながら、当局の要求する寄付金が基準をわずかに満たせないため、来年度(本年10月ごろ)に再度試みることとなりました。この基準を満たすのは容易のことではありません。解決のためには早急に、**1) 会員を増やすこと、2) 任意の寄付金を募ること**、につきます。皆様のお力なしでこの難関を突破することはできません。一度、「認定NPO法人」の資格が取得できればその後は広く寄付金は募りやすくなります。**皆様のご理解、ご協力を切にお願い申し上げます。**本件に関してご質問等あれば是非ご連絡ください。今回の新型コロナウイルス感染拡大事態により誠に残念ながら4月15日に行う予定であった第87回定例会を暫くの間延期する事にしました。再計画できる状況になり次第皆様にお知らせします。皆様お元気にこの危機の事態を乗り越えるよう頑張りましょう。

今後の予定

* 第87回定例会

「我々は如何に米国に洗脳されたのか?—国際歴史論戦の最前線からの報告」
大阪市立大学名誉教授、国際歴史論戦研究所(iRICH) 所長 山下英次 氏
日時: 4月15日(水) **※新型コロナウイルス対策として延期します。**

* 第85回定例会 5月

呉竹会、世界戦略総合研究所との合同開催 場所: 文芸社(新宿) (詳細未定)

* 第86回定例会 6月

「旧敵英海軍士官が賞賛する武士道」 恵 隆之介氏
日時: 6月3日(水) 18:30 於: 銀座カフェ・ジュリエ
原則、メールにてお申し込み下さい。

年会費お振り込みのお願い

1. 機関誌をEメールで受け取る会員 2,000円
2. 機関誌を郵送で受け取る会員 4,000円(2,000円+送付料2,000円)

当会の健全運営に資するため御寄付(一口1,000円)を戴けますことは、いつでも大歓迎です。ご意思のある方は事務局までEメールにて承ります。

新会員のお誘い

当会では、お友達など会の趣旨に賛同していただける会員を広く募集致しております。

年会費お振り込み先

各口座名義 特定非営利活動法人 日本を護る会・日本ネイビークラブ

① ゆうちょ銀行

店番号 038 普通預金 記号10380 番号92589171

② 三井住友銀行

店番号 516 普通預金 口座番号 74410697

日本を護る会・レポート 第38号 令和2年3月発行
編集発行: 特定非営利活動法人 日本を護る会
ホームページ: <http://awake-japan.sakura.ne.jp>
E-mail: awake-japan@googlegroups.com